

【静岡福祉文化を考える会】2022年度活動報告

活動テーマ: ホットとする豊かな地域づくりを拓く“共創社会”実現を探る

■ 静岡福祉文化を考える会の活動の原点(活動基調)

「日本福祉文化学会」から、静岡県内で「第11回福祉文化現場セミナー」開催の要請を受けて、阪神淡路大震災発生一年後(1996年3月)、「静岡発・みんなで語ろう福祉文化を21世紀の礎に」を課題に「人間らしい豊かさをめざして、いま文化としての福祉を語る」をテーマに、全国各地から400名の参加者と熱く語りあった思いを形にしようと、「災害と福祉文化」を追求する「地方発福祉文化の創造」に取り組む「市民活動団体」として結成(1996年9月)して、ここに27年間を総括する時期を迎えた。結成当初から、「3つの活動基調」を掲げてきた。

- 第一.「専門性と市民性の融合の関わり」
- 第二.「公開型地域総合型学習による理論と実践」
- 第三.「課題解決の向けた、福祉文化のプロセス重視」

この「活動基調」から、さらに、次の「3つの柱立て」をもとに、27年間活動を展開してきた。

➤ 第1の柱立て「啓発学習事業」

「静岡発(地方発)福祉文化の創造」をめざして、県内各地の「地域総合型啓発実践学習」に学び「課題提起」をしてきた。

➤ 第2の柱立て「調査研究事業」

県民の協力により、一貫して、その時代の地域社会問題をテーマに調査研究活動に取り組み、その結果をその都度県民と共に「地域総合型学習」により課題解決に向けた議論を深めてきた。

➤ 第3の柱立て「実践地区活動事業」

広く、県内各地の実践事例を共有し合い「地域診断」のもとに、確かな地域性を把握し、さまざまな実践活動を展開し、「協働」による福祉問題解決のプロセスの重要性を確認してきた。

■ 静岡福祉文化を考える会の27年間の歩み(別添27年間の歩み参照)

■ 静岡福祉文化を考える会2022年度の活動の方向性

厳しいコロナ禍下こそ、福祉文化活動をどのように維持できるか、この3年間「見える化」「わかる化」の知恵を出し合い、つながる・支え合う地域社会づくりを検証してきた。本会の調査研究事業から「地域コミュニティ」は、年々地域社会全体が個人志向化・希薄化と共に、福祉コミュニティ組織運営の不透明さが浮き彫りになった。

本会の活動の原点は、「地方発福祉文化の創造」の市民活動団体として結成(1996年9月)して、ここに、27年間の総括の時期を迎えた。この27年間を区切ると、「草創期」(1996年度~2001年度:6年間)、「協働期」(2002年度~2007年度:6年間)、「実践融合期」(2008年度~2014年度:7年間)、「共創社会実現期」(2015年度~2019年度:5年間)、「ご近所福祉検証期」(2020年度~)と置き換えられるように感じられる。

特に、本会の活動の基盤は、なんとといっても、2008年度~2014年度の7年間の「実践融合期」である。「静岡県委託事業:一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」に取り組み、「ホットする私のご近所福祉を創る」をテーマに、「生活圏域におけるささえあい」(ご近所福祉)を議論し合い、福祉文化実践活動を展開し、「若者発 ご近所福祉かるた」(赤い羽根共同募金助成事業・鈴与マッチングギフト助成事業)を企画製作し、県内各地に、具体的な「住民福祉教育」の推進に役立てる「ご近所福祉を学ぶ」教材として有効活用した。

2021年度(令和3年度)に「若者発 ご近所福祉かるた」の増刷と「かるた利用の手引き」の発行にこぎつけて、かるた誕生から8年目を迎えた今年度は、「ご近所福祉による共創社会実現」に向けて、さらに、これまでの成果物の有効活用に努めるとともに、様々な領域における住民福祉教育を通して「協働による地域課題改善に向けた地域づくり」の開拓に努めた。

本会の中心的活動として、結成以来、各年度の地域課題をテーマに27年間取り組んできた「調査研究活動」の今年度は、これまでの数々の調査考察結果から、地域住民相互のつながりやささえあいが弱くなり、地域コミュニティへの関りについて、その意識と実態が希薄化の傾向にあることが浮き彫りになった。さらには、3年間に及ぶ厳しいコロナ禍下、尊い地域コミュニティのさらなる希薄化で「共助」

「自助」がますます衰退傾向にある地域環境の中で、調査研究活動は、初めて、それぞれの地域で暮らす「高齢者」を対象に、意識と実態の現状を把握するとともに、コロナ明けに期待する地域（ご近所）のささえあいの仕組みづくりを検証した。

「焼津福祉文化共創研究会」との「協働」で、地域社会が果たすべき課題を提言することを目的に「ホッとする、安心した地域づくりその意識と実態調査」を実施した。このたびの調査は、これまでの調査では、一番回収率（86.7%）の高い成果につながった。

1. **事業実施期間** 2022年4月1日～2023年3月31日

2. **活動範囲** 静岡県全域（主に、静岡市内と協働団体（焼津福祉文化共創研究会）の焼津市内）

3. 各種会議・研修・会議等

- (1) 「地域共生社会調査研究部会」設置・開催（焼津福祉文化共創研究会との協働）…10回×7名=70名
- (2) 本会「委員会」開催（4/23, 5/21, 7/23, 11/26, 2/25, 3/25）…6回×5名=30名
- (3) 調査協力者…794名
- (4) 「公開型研修会」（全体会含）開催…3回×10名=30名
 - 第1回（5/21）「静岡発福祉文化の創造」の26年間のプロセスを探る～いまこそ、足元の福祉文化を話し合おう～
 - 第2回（7/23）「ホッとする豊かな地域づくりは誰が担う？」
 - 第3回（2/25）「ホッとする豊かな地域づくりを描く」
- (5) 「第21回静岡県福祉文化研究セミナー」（11/26）開催…20名
 - 「“ご近所福祉”から描く福祉文化」
- (6) 「静岡県コミュニティづくり推進協議会」関連会議及び研修会への関わり…60名
- (7) 協働団体「焼津福祉文化共創研究会」定例会…12回×10名=120名
- (8) 県社会教育委員研修会・市関連会議及び沼津市民協研修会への関わり…8回（260名）
【延べ39回（1,384名）】

4. 「ホッとする安心した地域づくりその意識と実態調査の実施

(1) 調査の目的

「静岡福祉文化を考える会」は、結成以来26年間「静岡発 福祉文化の創造」を目指した実践活動の大きな柱立ての一つに、その時代の地域社会を取り巻く様々な福祉課題を「調査テーマ」にした「調査研究活動」に取り組み、その分析結果を、県内各方面での研修会や本会の公開型研修会などで公表し、世代を超えた「地域総合型学習」を通じて問題提起をし、県民一人ひとりの意識改革に努めてきた。これまでの調査研究活動を振り返ると、

- 1997年度 1. 「共働きに関する調査」
- 1998年度 2. 「私たちにとって、地域とは何か—その1—意識と実態調査」
- 1999年度 3. 「私たちにとって、家族とは何か調査」
- 2000年度 4. 「父親に関する調査」
- 2001年度 5. 「ボランティア活動実践者意識調査」
- 2002年度 6. 「大人を対象とした生きがいと就労に関する意識調査」
- 2003年度 7. 「青少年の生きがいに関する調査」
- 2004年度 8. 「地域とは何か—その2—意識と実態調査」
- 2005年度 9. 「子どもと社会環境に関する調査」（継続調査）
- 2006年度 10. 「子どもと社会環境に関する調査」（総括）
- 2007年度 11. 「地域活動と団塊の世代の役割に関する意識調査」
- 2008年度 12. 「長寿者の生きがい、その意識と実態に関する調査」（静岡県共同募金会助成事業）
- 13. 「日常生活と福祉情報に関する意識調査」（静岡県委託事業）
- 2009年度 14. 「長寿社会に関する県民意識と実態調査」（静岡県委託事業）
- 2010年度 15. 「いまこそ地域社会に福祉文化を拓く 生活圏域における支え合いとは何か本音に迫る調査」（静岡県委託事業）

- 2011年度 16. 「地域と私の居場所その意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 2012年度 17. 「家族ってなにその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 2013年度 18. 「長寿者とつながるホッとすご近所づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 2014年度 19. 「豊かに暮らせる地域づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 2015年度 20. 「若者の地域参加その意識と実態調査」
- 2016年度 21. 「ご近所福祉その意識と実態調査」
- 2017年度 22. 「居場所ってなにその意識と実態調査」
- 2018年度 23. 「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」(1)
- 2019年度 24. 「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」(2)
「256名の子どもたちに聞きました。ホッとすご近所ですか?」
(静岡県社協ふれあい基金助成事業・考察提言)
- 2020年度 25. 「ご近所福祉その意識と実態調査」(25周年記念調査研究事業)
- 2021年度 26. 「福祉ってなに? 461名の子どもたちに聞きました調査」
(公益財団法人さわやか福祉財団, 公益財団法人あしたの日本を創る協会助成事業)

と、「26のテーマ」の調査研究活動に取り組んできた。

今回の調査研究活動は、これまでの調査考察結果から、地域住民相互のつながりやささえあいが弱くなり、地域コミュニティへの関りについて、その意識と実態が希薄化の傾向にあることが浮き彫りになった。さらに、長引く厳しいコロナ禍下、尊い地域コミュニティの希薄化による「共助」「自助」が衰退傾向にある地域環境の中で、それぞれの地域で暮らす高齢者の意識と実態の現状を把握するとともに、コロナ明けに期待する地域(ご近所)のやささえあいの仕組みづくりを検証する。なお、本会が取り組む全県域と協働団体の「焼津福祉文化共創研究会」が取り組む、焼津港地域管内(小地域)の地域性をもとに、地域社会が果たすべき課題を提言することを目的に実施した。

(2) 実施主体 静岡県福祉文化を考える会

(3) 協 力 焼津福祉文化共創研究会

(4) 調査対象

静岡県内の65歳以上の方々を対象に、年代・領域等を考慮し、約300名程度の回収を目標に実施した結果、794名からの回答をいただいた。回収率は、これまでの最高の86.7%。

(5) 調査依頼/配布方法

① 会員	…	100枚	
② 企業、福祉団体、福祉施設等	…	200枚	
③ 地域実践者(本会より直接郵送等で依頼)	…	250枚	Total 550枚

(6) 調査項目

① 基本属性	⑤ 地域地の関り(実態)
② 生活状況(高齢者自身)	⑥ 地域参加の動向
③ 家庭・家族のこと	⑦ 地域環境
④ 地域社会との関わり(意識)	⑧ 提言(自由な意見提)

(7) 調査展開

- ① 調査項目・調査票検討 … 2022年07月～2022年08月
* 本会委員会及び調査研究部会(地域共生社会調査研究部会)等を中心に検討。
- ② 調査票完成 … 2022年08月20日
- ③ 調査依頼(実施期間) … 2022年08月25日～2022年10月30日
* 回収まとめ…10月30日
- ④ 入力期間 … 2022年10月10日～2022年11月30日
- ⑤ 分析&考察 … 2022年10月30日～2022年12月25日
- ⑥ 調査報告書完成 … 2023年01月20日
- ⑦ 公表&報告 … 2023年02月25日(「公開型研修会」で公表)
* 公開型研修会、関係機関・団体等の各種研修会で実施
* 本会「Our Life」で経過報告及び考察概要紹介

5. 「ホッとする, 安心した地域づくりその意識と実態調査報告書」の発行(A4, 80P, 200 部)

(公益財団法人愛恵福祉支援財団 2022 年度社会福祉育成活動助成事業による)

(1) 企画意図

「静岡福祉文化を考える会」結成以来 27 年間, 重要な活動の一つとして取り組んできた「調査事業」の考察結果から, 地域住民相互のつながりやささえあいが弱くなり, 地域コミュニティへの関りについて, その意識と実態が希薄化の傾向にあることが浮き彫りになっている。介護保険制度により, 住民は「公助」, 「制度」が全てを解決できる認識さえ伺える。

さらにこの 3 年間, 長引く厳しいコロナ禍で, 尊い地域コミュニティの希薄化による「共助」「自助」が退行傾向にある社会環境の中で暮らす高齢者の現状を把握するとともに, コロナ明けに期待する地域(ご近所)のやささえあいの仕組みづくりについて, 地域社会が果たすべき課題を提言することを目的に実施した調査考察結果をまとめ, 「公開型調査報告研修会」をはじめ「協働団体との意見交換会」や関係機関・団体等への資料提供により, 世代を超えた「地域総合型学習」を通じて, どのように福祉コミュニティを構築するか問題提起し, これからの地域づくりに県民一人ひとりの意識改革を働きかける目的で, 公益財団法人愛恵福祉支援財団社会福祉育成活動助成事業により, 「調査報告書」を作成した。

(2) 作成時期

- ① 起案時期 … 2022 年 09 月 (7 月に設置した「地域共生調査研究部会」の「第 4 回部会」にて「調査報告書作成企画書」(案)を協議決定)
- ② 編集期間 … 2022 年 12 月 01 日～2023 年 01 月 10 日 (回収した調査個票を順次会員によりデータ入力をするとともに, クロス集計考察を調査報告書企画書に基づき編集)
- ③ 印刷期間
- ④ 配布期間 … 2023 年 01 月 10 日～2023 年 01 月 20 日
- ⑤ 総括 … 2023 年 02 月 25 日～2023 年 03 月 25 日
… 2023 年 03 月

(本会委員会及び「第 10 回地域共生社会調査研究部会」にて総括)

(3) 仕様(表紙:紙質カラー80P, 仕立て, 発行部数 200 部)

① 表紙(背文字入)

公益財団法人愛恵福祉支援財団社会福祉育成活動助成事業
静岡福祉文化を考える会 2022 年度調査研究事業
ホッとする, 安心した地域づくりその意識と実態調査報告書

② 裏表紙(奥付入)

公益財団法人愛恵福祉支援財団社会福祉育成活動助成事業
静岡福祉文化を考える会 2022 年度調査研究事業
ホッとする, 安心した地域づくりその意識と実態調査報告書

- 発行: 静岡福祉文化を考える会
- 印刷所: シブヤ印刷工芸社(20220930 見積書)
- 発行日: 2023 年 1 月 20 日

(4) 財源 公益財団法人愛恵福祉支援財団社会福祉育成活動助成事業 (¥148,000)

(5) ページ仕立て

【目次】	…	1P
➤ はじめに 高齢者とともに, ホッとする, 地域共生社会を拓く	…	1P
➤ 第 1 章 調査の概要	…	6P
1. 調査実施意図	5.	調査実施機関
2. 調査方法と調査日	6.	調査協力
3. 調査票の形式及び調査項目	7.	回収状況
4. 調査対象と調査票の発送		
➤ 第 2 章 サンプル構成/基本属性	…	5P
1. 性別	4.	居住歴別
2. 年齢別	5.	地域別
3. 家族構成別	6.	クロス集計

➤ 第3章 調査結果	…	32P
1. 基本属性		
2. 生活状況（高齢者自身）に関すること		
3. 家庭・家族に関すること		
4. 地域との関わりに関すること（意識）		
5. 地域との関わりに関すること（実態）		
6. 地域参加の動向		
7. 地域環境に関すること		
8. 提言（自由意見）		
➤ 第4章 調査のまとめ	…	5P
➤ 第5章 資料編	…	30P
1. 2022年度活動経過記録		
2. 「静岡福祉文化を考える会27年の歩み」		
3. 調査実施要項		
4. 調査票		
5. 「Our Life」（本会広報誌）		
6. 静岡福祉文化を考える会規約		
☆ これからの福祉を考えるネットサイト		

計 80P

(6) 配布実績

No.	配布先	計画配布数
1	公益財団法人愛恵福祉支援財団	2
2	静岡県関係行政機関	10
3	協働団体（焼津福祉文化共創研究会）	11
4	関連団体（日本福祉文化学会）	4
5	調査協力団体・実践者	81
6	静岡市V連絡協議会（本会加盟団体）	6
7	静岡県コミュニティづくり推進協議会	1
8	静岡県内社会福祉協議会・関連福祉団体	40
9	マスコミ各社	10
10	研修会参加者等（予備含）	35
合 計		200

(7) 調査考察

- ① 住民一人一人は、健康で積極的な社会参加の意識を高め、「自分自身での支え」をもとに「家庭の支え」とつなぐこと。生活の基盤（真の居場所）は「家庭・家族」であることを認識して、望ましい情緒安定環境に心掛けて、つなぐ・つながる人間関係を保持する。親子の関係は、それぞれの自立心の向上に努め、「家庭・家族機能」の確立・維持に努め、「ご近所とのつながり」「地域社会全体へのつながり」を常に心がける。人生を振り返ったとき、家族との触れ合いの生活を生きがいと感じられるように日々の生活に励む。
- ② 潤いのある生活を営む上で非常に重要な役割を持つ地域コミュニティを維持し、一人でも安心して暮らせる地域に向けて、「地域社会での支え」につなげていく。地縁組織の運営においては、「運営の見える化」に努め、全ての住民が地域参加できる環境整備を整えて、参加の呼びかけがあれば、日頃から「清掃活動」、「防災訓練」、「自治会・町内会活動」や、「地域の祭り」、「奉仕活動」に積極的に参加できるように心掛ける。
- ③ 取り巻く地域環境の中で、語れる環境に心掛けて、いろいろな世帯環境であっても、生活の安定を維持し、「友人との付き合い」、「趣味仲間」へと自助努力の広がりを目指す。
- ④ 地域において、在宅生活を維持していくために、「専門性と市民性の融合」の視点で、自助努力をもとに、見守り・声掛け（安否確認）、移動支援・同行（買い物・通院等）、話し相手、ゴミ出し、定期的なふれあいサロン（居場所）等、公助依存に終始することなく、日頃から、共助

意識を高める、地域全体で課題解決策を協議する環境を確保する。

- ⑤ 「ご近所福祉復活」をもとに、生活圏域で地域づくりに求められる地域環境は、日頃から、身近なご近所同士で「一緒に活動する人（仲間）がいること」、「一人ひとりが気軽に参加できる活動の機会があること」「地域が抱えている課題の情報が提供されていること」、「公共的な活動を積極的に評価し支援する仕組みがあること」などがあげられる。
- ⑥ ホットとする安心した地域で暮らし続けるために必要なことは、
 - ご近所のささえあい、身近な人の見守りと助言体制、コミュニティ組織体制の確立
 - 「地域を家庭化する」中で、地域課題を改善し、解決に取り組む「居場所」は、「語る、対等で自由な環境が保障されていること」「参加者が主体であり、上下の関係がなく、対等な関係が維持されていること」で、参加する住民を繋ぎ共助関係を維持し、地縁団体組織で継続的に維持できる運営基盤を保障すること。
 - 相談体制や情報提供の充実
 - 市民が必要とする福祉情報の提供は、地域性や、取り巻く環境を配慮し、全ての市民が地域に関わることが出来る工夫が求められる。（「回覧板」の活用の見直し、「スマートフォン・パソコン」の普及の工夫）
 - 地縁団体の積極的な福祉活動の取り組み、「行政と住民との協働と行政の地域への歩み寄りの努力
 - 福祉人材の養成、福祉団体の地域への積極的な歩み寄り、企業・学校等の地域社会への積極的な歩み寄り、NPO 法人等志縁団体による困りごと支援体制
 - これからの福祉活動の「無償性と有償性」は、「説明を聞いた上で前向きに考えたい」と約6割の回答から、住民自体がどのようにその認識を高めていくかの地域総合型学習の必要性を問いかける。

(8) 調査報告書の効果期待

- ① 今日、行政・福祉団体の計画策定のための「県民世論調査」等が実施されているが、住民主体の視点で「意識と実態」把握の調査は皆無であり、「共助」や「自助」の意識改革と「地縁組織と志縁組織の協働の必要性」を県民に呼び掛けることが出来る。
- ② 長引く厳しいコロナ禍下、改めてこうした社会環境では、正式な「調査報告書」の作成は、これからの「地域づくりのマニュアル」として有効活用可能であり、厳しいコロナ禍後の「地域共生社会」に向けた、県民への意識改革を働きかけ福祉コミュニティづくりの再構築を生み出す呼び掛けをすることが出来る。
- ③ 県民と共に、正式な「調査報告書」により「地域の課題提言」を「みえる化」、「見せる化」、「わかる化」し、広く「地域総合型学習」として有効活用できる。
- ④ 県内の市町行政及び社会福祉協議会に「調査報告書」を提供し、高齢者の地域参加による地域貢献が期待できる。

6. 「地域共生社会調査研究部会」の設置と運営

「本会活動テーマ」をもとに、本会委員会と協働団体「焼津福祉文化共創研究会」との連携による「地域共生社会調査研究部会」を設置。期間中下記の通り 10 回開催し、調査研究活動の円滑な運営とこれからの地域づくりについて研究協議。

回	開催日時	研究協議内容（概要）
1	07月30日（土）18:30	研究会の位置づけと方向性、地域の現状、課題整理
2	08月06日（土）18:30	調査実施計画協議（調査実施要項・調査個票・調査票配布）
3	09月03日（土）18:30	調査実施上の課題反響、調査集計作業
4	10月01日（土）18:30	調査回収状況、調査集計作業、協働の課題
5	11月05日（土）18:30	調査集計作業&考察作業（意識と実態と提言）
6	12月03日（土）18:30	調査から見えた意識と実態と地域づくりの課題考察①
7	12月17日（土）18:30	調査から見えた意識と実態と地域づくりの課題考察②
8	01月07日（土）18:30	調査報告書ページ仕立て作業、入稿、報告研修会計画
9	02月04日（土）18:30	調査結果の検証、報告研修会の具体化
10	03月04日（土）18:30	研究会総括（成果）、さわやか福祉財団へ報告

7. 広報・啓発活動

(1) 「機関紙発行計画」に基づく『Our Life』の発行

- ✓ 年4回、A4版、4ページ構成、上質紙印刷、500部発行
- ✓ 「地方発福祉文化の創造」論議や実践活動を会員及び関係方面に具体的に情報発信。
各号共通記事:「編集後記」、「公開型研修会開催報告」、「事務局日誌拝見」
 - 第140号(05/27)『27年目の福祉文化実践活動の取り組み』
 - 第141号(07/25)『ホッとする安心した地域づくりその意識と実態調査に取り組む』
 - 第142号(10/01)『焼津福祉文化共創研究会との協働の取り組み』
 - 第143号(12/10)『第21回静岡県福祉文化研究セミナーでご近所福祉を語り合う』
 - 第144号(01/10)『2022年度本会が静岡県知事賞(社会福祉功労)受賞』
 - 第145号(03/20)『2023年度28年目の本会活動の方向性』

(2) 日本福祉文化学会 HP と本会ブログのリンクによる「地方発 福祉文化の創造」の発信

(3) 「焼津福祉文化共創研究会」ブログとの連動による「福祉文化の創造」の発信

(4) マスコミ、関係機関・団体への情報提供

8. 実践活動「若者発 ご近所福祉かるた」増刷及び有効活用による「ご近所福祉」の検証

2021年度 赤い羽根共同募金・地域福祉活動支援事業「“若者発 ご近所福祉かるた”の活用拡大と住民福祉教育の開拓事業」として採択された本事業の成果をあげるため、「増刷かるた」100セットをいかに配布するか、この5年間の成果と課題を検証し、「住民福祉教育の開発」に取り組んだ。

(1) 2015年度「かるた」配布実績

- ① 本会会員(2015年度会員24名)…24セット
 - ② 関係機関・団体・個人・学校…13セット
(作家・法月様、県長寿政策課、県共同募金会、日本福祉文化学会、全国社会教育委員連合あしたの日本を創る協会、静岡県コミュニティづくり推進協議会、常葉大学・図書館、焼津図書館三重県、沖縄県、御殿場市)
 - ③ 若者発“居場所”あり方研究会(矢野・小長井・劉・村里・秋山・堀井・松下)…7セット
 - ④ 共創社会実現研究会(長谷川・小野田・後藤・藤田・三輪)…5セット
 - ⑤ 施設・グループ…10セット
(特別養護老人ホーム「菜の花」、社会福祉法人春風会、富士市社会福祉協議会、焼津市:左口、おしゃべりかい、藤枝市:かいらハウス村田啓子様、WAC 清水さわやかサービス、生き生きネットワーク、たすけあい遠州)
 - ⑥ 団体・個人…9セット
(大石さき様、富士宮市社会福祉協議会、沼津市社会福祉協議会、掛川市社会福祉協議会西伊豆町社会福祉協議会、富士宮市富士根南地区、菊川市社会福祉協議会、富士市富士南地区福祉推進会)
 - ⑦ 貸出セット設置…32セット
(焼津市・港公民館(中部管内4)、静岡福祉文化を考える会(全県対応4)、NPO法人泉の会(中部管内4)藤枝市・かいらハウス(中部管内4)、NPO法人磐田まちづくりネットワーク(西部管内4)、富士宮市社会福祉協議会(東部管内4)、西伊豆町社会福祉協議会(伊豆管内4)、沼津市社会福祉協議会(東部管内4))
- 上記の配布実績から見て、はじめて制作した「かるた」の地域への実践的活用配布は約50%であった。

(2) 2015年度配布した団体・グループ対象に実施した「活用状況調査」

- ✓ 回答団体・グループ:8/16カ所(50%)
- ✓ 回答結果から「2021年度増刷かるた配布」にあたり、検討すべき点は次の通り。
 - ① さわやかクラブ(御殿場市・静岡市)の定例会でご近所福祉を学び、積極的に地域参加につなげたい。
 - ② 社協の地域福祉推進事業に活用したいが、近隣の社協からの借用は、期限を決めなければならない。
 - ③ 本会でいつでも活用できる環境をつくりたい。(問い合わせの社協根の対応と本会への協力と

地域性配慮)

- ④ 継続的活用と広報啓発活動に取り組む。
- ⑤ 世代間交流による「ご近所福祉」を考え、これからの地域づくりへの関心を高める。
- ⑥ 地域の担い手の発掘と住民福祉教育を推進する団体。
- ⑦ 地域のニーズ把握を把握し、近隣地域との連携を図る。
- ⑧ 住民福祉教育の拡大と共に、「協働」による事業の展開を考える。
- ⑨ 県内の東部地区、中部地区、西部地区をある程度均等に配布する。
- ⑩ 団体・グループの活動趣旨に基づき配布。

「学童保育」、「認知症支援グループ」、「世代間交流団体」、「地域づくり推進団体」、「積極的な地縁団体」、「青少年健全育成団体」、「積極的な居場所運営」、「コミュニティ推進団体」

(3) 具体的配布先(実績:2022年11月27日～2023年1月4日発送完了)

No.	配布先団体・グループ・個人	領域	配布先住所	配布数	備考
1	焼津福祉文化共創研究会会員	協働団体・中	焼津市内	14	
2	共創社会実現研究会委員	協働関係・中	小林様, 間宮様, 渡部様	6	各2
3	御殿場市単位老人クラブ(2)	東	御殿場市	4	各2
4	日本福祉文化学会	全	(新潟福祉文化を考える会)	2	
5	静岡市葵区単位老人クラブ	中	静岡市	2	
6	静岡市葵区地区社協	中	静岡市	2	
7	志縁団体(青少年健全育成)	中	藤枝市	2	
8	あそびの会	中	静岡市	2	
9	居場所「ふれんどカフェ」	東	御殿場市	2	
10	新谷コミュニティカフェ「花笑み」	東	三島市	2	
11	東桃郷居場所サロンももの会	東	沼津市	2	
12	和市ふれあいクラブ	東	裾野市	2	
13	静岡福祉文化を考える会	中	(新規会員1名)	1	
14	焼津市立小川小学校	中	焼津市	2	
15	焼津市立港小学校	中	焼津市	2	
16	静岡市内「児童館」(1箇所)	中	(静岡市社協経由)	2	
17	浜松こども園	西	浜松市	2	
18	NPO 法人みんなの家	東	賀茂郡西伊豆町	2	
19	ぐらんまテラス	東	沼津市	2	
20	株式会社しんあい	中	静岡市	2	
21	島田市落合地区社協	中	島田市	2	
22	小さな親切運動本部	全	東京都	2	
23	社会福祉法人ハルモニア	中	藤枝市	2	
24	千福が丘アートサロン	東	裾野市	2	
25	個人ボランティア	中	藤枝市	2	
26	社会福祉法人春風会	東	沼津市	1	
27	浜松学院大学大野木研究室	西	浜松市	2	
28	NPO 法人風の家	西	掛川市	2	
29	藤枝ももはなの会	中	藤枝市	1	
30	吉田町社会福祉協議会	中	榛原郡吉田町	1	
31	藤枝市社会福祉協議会	中	藤枝市岡部町	2	
32	長泉町社会福祉協議会	東	駿東郡長泉町	2	
33	湖西市社会福祉協議会	西	湖西市新居町	1	
34	袋井市社会福祉協議会	西	袋井市	2	
35	磐田市社会福祉協議会	西	磐田市	2	
36	御殿場市社会福祉協議会	東	御殿場市	2	

37	川根本町社会福祉協議会	中	榛原郡川根本町	2	
38	下田市社会福祉協議会	東	下田市	2	
39	伊豆市社会福祉協議会	東	伊豆市	2	
40	伊豆の国市社会福祉協議会	東	伊豆の国市	1	
41	(公財) さわやか福祉財団	全	東京都	1	
42	(公財) あしたの日本を創る協会	全	東京都	1	
43	静岡県庁地域福祉課	全	静岡市	1	
44	静岡県長寿政策課	全	静岡市	1	
45	静岡兄弟姉妹の会	東		1	
合 計			47	100	

(4) 県内地域別配布状況

No.	配布地域	配布先	配布数
1	東部地域	16	30
2	中部地域	19	51
3	西部地域	6	11
4	全 般	6	8
合 計		47	100

(5) 領域別配布状況

No.	配 布 先	箇 所	セット (個数)	備 考
1	社会福祉協議会	11	20	未設置社協
2	NPO 法人	2	4	
3	福祉施設	4	7	
4	サロン・居場所	7	14	
5	児童館	2	4	新規
6	実践者 (個人)	1	2	
7	学童保育	2	4	新規
8	地区社協 コミュニティ組織	2	4	新規
9	さわやかクラブ	3	6	新規
10	関係機関・団体等	11	31	
11	学校	2	4	新規
合 計		45	100	

* これまで、2015年度・2021年度合計200セットの「若者発 ご近所福祉かるた」及び、2021年度に作成した「かるた利用の手引き」(200部)の有効活用を引き続き状況を把握。さらに増刷検討とともに、「活用事例集」の編集を検討。

9. 現場視察研修による検証

「若者発 ご近所福祉かるた」活用現場に出向き、「地域総合型学習」について検証。

10. コミュニティ組織との連携

「若者発 ご近所福祉かるた」配布地域・団体等との連携を保持し、具体的な地域学習(「ご近所福祉」)について、広く地域住民の意見を把握。

11. 関係・団体との協働・連携

- (1) 「静岡県共同募金会」への情報提供(2021年度助成事業その後の取り組み経過報告)
- (2) 「焼津福祉文化共創研究会」との協働による諸活動の展開と、小地域福祉活動の連携による「近助」の取り組みの現場に学ぶ実践活動を県域に共有していく
- (3) 「静岡県コミュニティづくり推進協議会」との連携(「かるた」配布団体・グループ推薦と事業関連情報提供)
- (4) 「日本福祉文化学会」及び「学会東海中部ブロック」への情報提供(本会団体会員として)

- (5) 「関連大学・専門学校」への情報提供
- (6) 「静岡市ボランティア連絡協議会」との連絡調整及び情報提供
- (7) 「ふじのくに未来財団」への情報提供
- (8) 県内外の関連研究会等と「近助」に関する情報共有
- (9) 福祉コミュニティ組織における実践的取り組みをしている地域の把握と情報交換
- (10) 「若者発 近所福祉かるた」配布団体・グループ等との日常的連携（施設、NPO 法人、Vグループ）
- (11) 「静岡県社会福祉協議会及び市町社協」との連携（情報提供）
- (12) 公益財団法人「あしたの日本を創る協会」への情報提供
- (13) 公益財団法人「さわやか福祉財団」への情報提供
- (14) 公益財団法人「愛恵福祉支援財団」からの助成事業をいただき、経過報告及び情報提供
- (15) 「日本財団」ブログ登録（情報提供）

12. 静岡福祉文化を考える会 2022 年度活動経過記録

月/日	経過記録
04/09	▶静岡市 V 連総会出席（古屋氏）、2021 年度本会監査実施
04/14	▶2022 年度会費納入状況確認（10 名）、2022 年度会員数 18 名
04/23	▶「第 211 回委員会」開催
04/29	▶ツバ印刷工芸社との協議（調査報告書印刷製本見積依頼）
04/30	▶焼津福祉文化共創研究会 2022 年 4 月（第 37 回）定例研究会開催
05/03	▶本会ブログ更新のための資料確認（「2021 年度決算書」、「2022 年度予算書」、「2021 年度事業報告書」）
05/08	▶「第 1 回公開型研修会」開催（5 月 21 日）についてマスクに情報提供
05/09	▶「第 1 回公開型研修会」開催（5 月 21 日）を県内地域実践者 30 名に案内発送作業実施
05/14	▶焼津福祉文化共創研究会 2022 年 5 月（第 38 回）開催
05/21	▶「第 212 回委員会」及び「第 1 回公開型研修会（全体会）」開催
05/24	▶「Our Life 140 号」編集・発行、関係方面へメール送信
05/26	▶会員に「Our Life 140 号」及び「第 1 回公開型研修会（全体会）」関係資料発送 ▶本会運営に関する連絡調整
06/01	▶日本福祉文化学会より「福祉文化研究第 31 号」、「福祉文化通信第 93 号」届く ▶NPO 法人こころしさ（本田弘哉氏）より、かるた活用レポート報告あり ▶新たな地域活動の資料をいただく
06/09	▶NPO 法人こころしさ（本田弘哉氏）より、7 月 23 日公開型研修会報告用資料届く
06/11	▶焼津福祉文化共創研究会 2022 年 6 月（第 39 回）開催
06/17	▶焼津福祉文化共創研究会に「2022 年度（公財）さわやか福祉財団助成事業」採用決定連絡有
06/20	▶静岡市社会福祉協議会より、本会を「2022 年度県知事表彰」に推薦する旨の連絡有 （6 月 23 日締め切り）
06/21	▶静岡市社会福祉協議会へ、「2022 年度県知事表彰」に関する書類を提出
06/23	▶静岡県社会教育委員全体研修会において、本会の結成以来今日までのブログと調査活動紹介
06/30	▶第 2 回公開型研修会に関するマスク対応及び関係方面へ案内文書発送準備作業
07/01	▶焼津福祉文化共創研究会の「みんなで創る福祉を学ぶ講座」に赤い羽根助成金決定 この講座を本会として「協力」することとする
07/04	▶第 2 回公開型研修会参加呼びかけ実施（30 名に郵送）
07/09	▶焼津福祉文化共創研究会助成事業関連資料作成（講座・調査研究事業） 併せて、本会本会調査研究事業も関連づけて取り組む ▶焼津福祉文化共創研究会 2022 年 7 月（第 40 回）開催（本会調査の協働について了解）
07/23	▶「第 213 回委員会」及び「第 2 回公開型研修会」開催
07/25	▶「Our Life 141 号」編集・発行、関係方面へメール送信 ▶日本福祉文化学会へ情報提供
07/28	▶本会のブログのアクセス件数増加傾向あり
07/30	▶「第 1 回地域共生社会調査研究部会」開催

07/31	➤日本福祉文化学会中部東海ブロックへ活動状況報告
08/06	➤「第2回地域共生社会調査研究部会」開催
08/08	➤静岡福祉文化を考える会「調査個票」組み立て作業実施
08/20	➤焼津福祉文化共創研究会主催「みんなで創る福祉を学ぶ講座」に協力 ➤焼津福祉文化共創研究会2022年8月(第41回)開催
08/25	➤静岡福祉文化を考える会「調査個票」完成し、発送作業実施
08/29	➤沼津市民生委員児童委員協議会研修会にて本会活動紹介と調査協力呼びかけ
08/31	➤「第33回日本福祉文化学会全国大会京都大会」(オンライン)開催の案内有、本会会員に案内
09/03	➤「第3回地域共生社会調査研究部会」開催
09/17	➤焼津福祉文化共創研究会2022年9月(第42回)開催
09/19	➤静岡福祉文化を考える会「調査個票」回収開始、データ入力依頼実施
09/20	➤焼津福祉文化共創研究会発行「みんなで創る福祉を学ぶ講座報告書」を本会関係方面に配布
10/01	➤「第4回地域共生社会調査研究部会」開催
10/05	➤「公益財団法人愛恵福祉支援財団」へ「助成申請書」をPCにて手続き実施
10/08	➤焼津福祉文化共創研究会2022年10月(第43回)開催
10/10	➤「Our Life 142号」発行、関係方面へメール送信
10/15	➤「2022年度コミュニティカレッジ」において、「若者発 近所福祉かるた」の誕生と活用方法紹介 また、「2022年度調査研究事業」の取り組みについて紹介
10/17	➤「若者発 近所福祉かるた」に関する問い合わせ有(コミュニティカレッジ受講者)、対応
10/23	➤「第33回日本福祉文化学会全国大会京都大会」(オンライン)開催
10/25	➤「第21回福祉文化研究セミナー」開催(11月26日)案内実施(30名)
10/31	➤本日をもって「調査票」回収終了、本格的なデータ入力作業とクロス集計へ移行
11/05	➤「第5回地域共生社会調査研究部会」開催
11/12	➤焼津福祉文化共創研究会2022年11月(第44回)開催
11/26	➤「第214回委員会」及び「第21回福祉文化研究セミナー」開催
12/03	➤「第6回地域共生社会調査研究部会」開催
12/17	➤「第7回地域共生社会調査研究部会」開催 ➤本日をもって調査考察作業終了、調査報告書編集作業へ移行
12/24	➤焼津福祉文化共創研究会2022年12月(第45回)開催 ➤「焼津福祉文化共創研究会通信 No.40」発行 ➤「Our Life 143号」(静岡福祉文化を考える会)発行 ➤「焼津福祉文化共創研究会調査報告書」印刷業者に入稿
01/07	➤「第8地域共生社会調査研究部会」開催 ➤「静岡福祉文化を考える会調査報告書」印刷業者に入稿
01/14	➤焼津福祉文化共創研究会2023年1月(第46回)定例研究会開催 ➤焼津福祉文化共創研究会「ホッとする安心した地域づくりその意識と実態調査報告書」納品
01/28	➤静岡福祉文化を考える会「ホッとする安心した地域づくりその意識と実態調査報告書」納品
02/04	➤「第9回地域共生社会調査研究部会」開催
02/18	➤焼津福祉文化共創研究会2023年2月(第47回)定例研究会開催 ➤「地域共生社会を語る」(調査報告会)研修会開催
02/25	➤静岡福祉文化を考える会「第3回公開型研修会」開催 ➤「第215回委員会」開催 ➤「焼津福祉文化共創研究会通信 No.42」発行
03/04	➤「第10回地域共生社会調査研究部会」開催
03/18	➤焼津福祉文化共創研究会2023年3月(第48回)定例研究会開催 ➤「焼津福祉文化共創研究会通信 No.43」発行
03/25	➤「第216回委員会」開催 ➤関係機関・団体へ事業報告